



カリキュラム

(2026年4月現在)

※本カリキュラムは見直し等により変更されることがあります

1 年次

2 年次

3 年次

4 年次

視野を広げ、課題に取り組む土台をつくる：課題の分析・検討に必要な様々な学知と技能を学び、協働や経験を通じてものの考え方や視野を広げる

課題に取り組む上で必要となる能力を磨く：実際に課題の分析・検討をおこなうことを通じて、将来的な課題の解決に必要な学知や技能、視点、態度を修得する

高年次基幹教育科目

協働科目

知識や技能、考え方、背景の異なる様々な人々と協働して、課題を検討、将来的な解決への道筋を考える思考法や態度、スキルを身に付けます。
・共創基礎プロジェクト ・共創プロジェクト

共創基礎演習

アプローチ科目で学んだ学知や技能を、少人数での演習形式で深めることを目的とします。

共創発展演習

主指導教員から、ディグリープロジェクトの遂行に必要な方法論や技能、モノの見方などを、定期的に指導を受けることを通じて修得します。

アプローチ科目

我々が直面している課題を考えるうえで必要不可欠な学問的方法論や技能を身に付けます。

人文・社会分野(系)

・思想・倫理・哲学A「文化的記憶入門」
・思想・倫理・哲学B「文化的記憶探究」
・思想・倫理・哲学C「社会哲学論」
・文学A「東アジアの文学と文化」
・文学B「比較文学比較文化入門」
・言語・コミュニケーション論A「言語研究概論」
・言語・コミュニケーション論B「コミュニケーションの本質」
・言語・コミュニケーション論C「Introduction to Language Policy」
・言語・コミュニケーション論D「Language Education Policy to Immigrants: Japan and the World」
・歴史学A「『難しい歴史』：南京事件と戦後の学生運動・環境運動」
・考古学A「公共考古学」
・考古学B「社会集団論」
・考古学C「先史社会研究の理論と方法」
・人類学A「人類的インタビュー法」
・政治学A「政治学基礎論」
・政治学B「規範的政治理論」
・国際関係論A「国際政治」
・国際関係論B「中国外交論」
・経済学A「経済分析入門」
・経済学B「開発経済学」
・経済学C「ベクトルと行列からみる社会」
・経済学D「Critical thinking through behavioral economics」
・経済学E「ミクロ経済学1」
・経済学F「ミクロ経済学2」
・地域研究A「地域研究基礎論(中東政治)」
・地域研究B「文化人類学的フィールドワーク論」

自然科学分野(系)

・思想・倫理・哲学A「生命倫理科学」
・地域研究A「地球環境実習」
・数学A「統計入門」
・工学A「自然災害とレジリエンシー1」
・工学B「自然災害とレジリエンシー2」
・工学C「物理現象と数学的表現」
・生物学A「昆虫学基礎論」
・生物学B「生物の多様性と進化」
・生物学C「分子生物学」
・生物学D「遺伝子実験と解析技術」
・生物学E「遺伝学と進化」
・生物学F「遺伝子とバイオダイバーシティ」
・生物学G「分子生物学と細胞生物学」
・生物学H「生化学、内分泌学および栄養学」
・物理学A「自然科学の基礎」
・物理学B「物理学実験入門1」
・物理学C「物理学実験入門2」
・地球科学A「地球の理解」
・地球科学B「フィールドワーク基礎実習」
・地球科学C「地球物質の科学1」
・情報学A「ヒトと情報」

学際分野(系)

・思想・倫理・哲学A「科学的に考えるとはどういうことか」
・思想・倫理・哲学B「科学思想史」
・言語・コミュニケーション論A「多文化社会における言語・コミュニケーション実践」
・言語・コミュニケーション論B「ファシリテーション入門」
・考古学A「考古学基礎実習Ⅰ」
・考古学B「考古学基礎実習Ⅱ」
・地理学A「東アジアの経済地理学」
・地理学B「自然環境地理学」
・地理学C「人間環境地理学」
・地理学D「環境地理学演習」
・地域研究A「地域研究基礎論」
・数学A「数理論理A」
・数学B「数理論理B」

・工学A「水工・水文学」
・工学B「都市気候と居住環境の物理1」
・工学C「都市気候と居住環境の物理2」
・工学D「地球資源工学」
・情報学A「データアナリティクス1」
・情報学B「データアナリティクス2」
・情報学C「ビッグデータ処理」
・情報学D「質的研究法」
・情報学E「Python Programing in English」
・情報学F「Python Programing for Analysis」
・情報学G「実データ解析技法1」
・情報学H「実データ解析技法2」
・科学技術論A「科学技術社会論」
・デザイン学A「福祉とコミュニケーションデザイン」
・デザイン学B「デザインとイノベーション」
・生態学A「生物多様性基礎論」

課題科目

アプローチ科目で学んだ学問的方法論や知識、技能などを活用して、実際の課題を考え、その将来的な解決に至る道筋を探ることを学びます。

人間・生命領域

・システム神経科学
・栄養生理学
・がんと健康の科学
・Basic Pharmaceutical Science
・Advanced Pharmaceutical Science
・遺伝学と発生生物学

国家と地域領域

・政策評価論
・ロシア経済論
・比較史
・越境史
・国家と政治
・東アジアのジェンダー史
・現代中国論
・計量中東政治
・日本経済史
・地域生態論1
・地域生態論2
・電気エネルギーの供給方法と問題点

領域横断

・コミュニティと社会開発
・共創プログラミング
・地域史
・比較地域研究
・哲学から課題に取り組む
・規範的政治理論演習
・宗教研究
・地球温暖化と水循環
・地盤防災とサステナビリティ

地球・環境領域

・生物多様性科学
・自然環境地理学応用演習
・保全遺伝学
・地球について考える
・社会の中の地球科学
・人文環境地理学応用演習1
・人文環境地理学応用演習2
・昆虫学演習
・環境都市政策

人と社会領域

・国際福祉論
・臨床教育学
・観光と文化
・グローバル・ガバナンス
・言語データ分析
・コミュニケーションと認知
・Globalized English
・物質文化研究1
・物質文化研究2

・物質文化研究3
・自己・他者の理解
・フィールドワークとチームワークを通じた地域課題の探求
・人骨考古学実習
・Law in Modern Society
・日本語教育理論

ディグリープロジェクト (卒業研究)

学生一人一人が将来的な解決を目指す課題を選定し、そのために必要となる方法論や技能を駆使して、課題の根源的な原因の探求や、将来の解決に不可欠な手法やモノの見方などの模索に取り組みます。

・ディグリープロジェクト1
・ディグリープロジェクト2
・ディグリープロジェクト3

基幹教育

九州大学で学ぶ、全ての学部学生が履修します。「ものの見方・考え方・学び方」を学習し、深い専門性や豊かな教養へとつながる知識、技能の基礎を身に付けます。

・基幹教育セミナー
・課題発見科目
・学術アプローチ科目
・言語文化科目
・文系ディシプリン科目
・理系ディシプリン科目
・サイバーセキュリティ科目
・健康・スポーツ科目
・総合科目

共創基礎科目

共創学部での学修の土台となるものの考え方や見方、研究手法、技能などを学びます。

・学術研究基礎
・共創のための数学
・システム科学基礎
・課題とイノベーション
・データの収集・分析
・世界の様々な哲学
・世界を理解するための歴史的視座

基幹教育科目：英語インテンシブコース

英語の「読む・書く・聞く・話す」の4技能を徹底的に向上させ、英語が「使える」能力を身に付けます。

・インテンシブ英語 ・学術英語

経験科目

留学やインターンシップを通じて、自分が生まれ育った街や国、地域を超えて、世界中の様々な人々と交流し、自分とは異なる考え方や見方を学び、違いを超えて協力する姿勢を身に付けます。
・異文化対応1 ・異文化対応2 ・海外活動A ・海外活動B ・グローバル・オンラインA ・グローバル・オンラインB ・海外留学認定科目(アプローチ科目へ分類)

レクチャーシリーズ

実際の課題解決の現場ではどのような取り組みがおこなわれ、どのような困難に直面し、いかにしてその困難を克服しようとしているのかなどを学ぶことを目的に、産官学、様々な分野から講師を招き、講演やワークショップ形式で開講します。

必要に応じて他学部などの科目を履修